

科目名	徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<p>理学療法士は臨床において徒手理学療法を実施する場面も多い。  徒手療法には様々な方法があり、臨床で実施されている。  この授業では基礎的な内容の習得を目的とする</p>							
〔授業全体の内容の概要〕							
<p>主に腰痛に対する理学療法を中心に行う。  基礎的な知識面に関しては座学を行い、手技に関しては実技を実施する。</p>							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
各項目における基礎的な知識と実技を習得する							
回数	講義内容						
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技						
2	問診とスクリーニング						
3	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）						
4	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）						
5	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）						
6	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）						
7	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）						
8	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
腰痛に対する基礎的リハビリテーション	吉田優也	滋慶出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験で判定する
-----------